



# H. KAMATA

鎌田 浩史(4年・FW)

途中出場がおおかったがチームのため全力を尽くし、プレーした。天皇杯一回戦ではハットトリックを達成した。①1年 73 点・63 点②—③水戸桜ノ牧高校(茨城県)④11試合⑤4得点



# H. KADOYA

角屋 博文(4年・DF)

流動的だった今年のサイドバック。そのなかで定位置を獲得したのが角屋。「頑張れば試合に出れる」という事を実践してみせた男だ。①1年 73 点・68 点②—③境高校(茨城県)④20試合⑤—



# N. OSERA

大瀬良 直人(2年・MF)

才能は首脳陣も認めるどころ。今年は『眠れるレフティ』の爆発が必要不可欠だ。①1年 70 点・60 点②—③大津高校(熊本県)④1試合⑤—



# M. INDE

印出 昌史(1年・FW)

今年是不動の2トップがいたため出番はなかったがその2人が抜けた今年レギュラーを獲得したい。①1年 80 点・73 点②—③浦和レッズユース(埼玉県)④1試合⑤—

## 2002年を彩った選手たち



# H. HASHIMOTO

橋本 早十(3年・MF)

正確無比な左足は今年も数々の得点を生み出した。本来のアシストもさることながら昨年は積極的にゴールも狙った。最終学年になる今年、橋本はどんな進化をとげるのだろうか…。①1年 74 点・61 点②ユニバーシアード代表候補③丸岡高校(福井県)④30試合⑤13得点9アシスト